



近年、局地的な気象がもたらす土砂災害が頻発しています。今回、大規模土砂災害の発災時における災害対応行動について確認・検証することを目的に、国、県、および関係機関の参加による合同防災訓練を実施しました。

訓練は、進行役が想定した災害シナリオに沿って訓練参加者に質問し、回答を求める質疑応答型の「学習型訓練」という手法を用いました。この訓練では、参加する

他機関の対応行動を知ることができ、参加者からは「大変参考になった。今後の災害対応に役立てたい。」との好意的な感想をいただきました。

迅速かつ的確な災害対応行動には、関係機関の緊密な連携と情報共有が不可欠です。行政機関だけでなく地域住民も含めた、日頃からの顔の見える良好な関係が大切であると改めて認識することができた訓練であったと思います。

【大規模土砂災害を想定した合同訓練】

日時：平成28年11月16日(水) 9:00~12:00
場所：北陸技術事務所 富山出張所（富山防災センター）
参加機関：富山県：土木部砂防課、知事政策局防災・危機管理課、富山土木センター
富山市：建設部、建設政策課、道路河川整備課、防災対策課、土木事務所建設課、土木事務所管理課、大山消防署
富山県警察本部 警備課
自衛隊 富山地方協力本部
国土交通省北陸地方整備局 河川部、立山砂防事務所
立山神通砂防スペシャルエンジニア

参加人数：40名
見学者：市町村関係者、町内会長・地区の総代及び住民のみなさん
※過年度は上市町（H25）と立山町（H27）において同様の訓練を実施しました。

災害想定

気象状況

一台風の接近に伴う前線の活発化による豪雨
昭和44年の集中豪雨と同程度

【降雨規模：最大時間雨量59mm/総雨量614mm】

主な災害現象

一豪雨に伴う(同時多発)土砂災害の発生

【富山市大山地区牧野他】

一深層崩壊による河道閉塞(天然ダム)の形成

【富山市大山地区亀谷】



参加機関



開会挨拶:大坂 剛
立山砂防事務所長



富山県
防災・危機管理課



富山県
砂防課



富山県
富山土木センター



富山県警察



自衛隊



富山市



北陸地方整備局



立山砂防事務所



立山神通砂防
スペシャルエンジニア



会場の様子



災害時における自機関の
役割について発言する様子



シナリオ進行役

講評



富山県 建設部長
俣本 和夫

各機関の役割を理解し、連携する重要性を今回の訓練を通して学ぶことができた。大規模な災害を経験していない富山県において、日頃から防災の意識を高めておくことは重要であり、できる限りの備えをする必要がある。

見学者感想

- ・過去に災害があったこともあり、今回の訓練で得たことを地域の方々にも広めていきたい。
- ・高齢者が多くいる地域では情報伝達や昼夜の対応に不安がある。行政の方から私達（地元住民）への情報伝達の方法が明確になるようにしてほしい。
- ・迅速かつ円滑に対応する能力を高めてほしい。